関西福祉科学大学

使命

関西福祉科学大学は、建学の精神「感恩」を心得、実践する人を育成し、豊かな未来社会を作る。

その達成に向け良質の教育活動と、活発な知的創造・研究活動を行う。

教育理念

建学の精神「感恩」の構造化と具現化、その実践を支える「臨床福祉」の精神、「豊かな人間性」の涵養が関西福祉科学大学の教育理念である。

「臨床福祉」とは「支援するものとされるもの」が、互いの人格を認め合い、自らの将来に意欲を持って立ち向かえるように支援することを意味するものである。臨床福祉の精神が目指すものは単なる負の克服にとどまらない、より高次の積極的価値の生成である。

教育目的・目標

福祉科学の知識と技能を体得し、建学の精神「感恩」に基づき、人の幸せを願う豊かなこころで、「臨床福祉」の精神に支えられた福祉科学を実践する人の育成

～笑顔 あいさつ 優しさを大切にし 豊かな学生生活を創る～

社会福祉学部

臨床福祉の精神を培い、社会福祉に関する科学的な知識と技能を修得し、人々が幸せに生きる社会の構築に真摯に努める専門的な実践力を備えた人を育成します。

■社会福祉学部　社会福祉学科

※社会福祉学科は、2023（R5）年度より 3 コースから 4 コースに変更予定

≪教育目的≫

社会福祉の専門職は言うに及ばず、広く地域社会において福祉社会の構築に貢献できる実践力を身につけた社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士等の育成を目的としています。

≪教育目標≫

講義から演習さらに実習への学習プログラムを大切にし、社会福祉の実践に必要な価値観、専門的知識と技能を修得することが教育目標です。

(1)社会福祉コース

≪教育目標≫

福祉サービスを必要とする人の気持ちを理解し、相談に応じ、助言・援助、関係機関との連絡調整等を行うソーシャルワーカーの育成を目指しています。具体的には、福祉行政機関、医療機関、社会福祉協議会、社会福祉施設・事業所等広く社会福祉の現場において福祉サービスを必要とする人々の生活支援およびその家族の支援を行う社会福祉士を養成します。

≪育成すべき学生像≫

①社会福祉士の取得を目指し、福祉の現場においてソーシャルワークを行う、福祉専門職を育成します。

②さまざまな専門職とのネットワークの中心的存在として活躍できる人を育成します。

(2)精神保健福祉コース

≪教育目標≫

精神障害のある人々の気持ちを理解し、相談に応じ、助言・援助、関係機関との連絡調整等を行うソーシャルワーカーの育成を目指しています。具体的には、精神科病院・病棟等の医療機関や障害福祉サービス事業所等で社会復帰に向けた援助や社会生活支援およびその家族の支援を行う精神保健福祉士を養成します。

≪育成すべき学生像≫

①精神保健福祉士の取得を目指し、精神保健福祉の現場においてソーシャルワークを行う、精神保健福祉専門職を育成します。

②精神保健福祉分野においてさまざまな専門職とのネットワークの中心的存在として活躍できる人を育成します。

(3)介護福祉コース

≪教育目標≫

加齢や障害等により介護を必要とする人の気持ちや生活を理解し、身体的介護、社会活動支援、相談・助言を行う介護福祉の専門職の育成を目指しています。具体的には、社会福祉施設・事業所・医療機関や地域・在宅等、幅広く生活支援を必要とする人々およびその家族の支援を行う介護福祉士を養成します。

≪育成すべき学生像≫

①介護福祉士の取得を目指し、介護福祉の現場において生活支援を行う介護福祉専門職を育成します。

②介護福祉分野において、さまざまな専門職とのネットワークの中心的存在として活躍できる人を育成します。

(4)ビジネスコース

≪教育目標≫

人と人との関わりを通して得られる人間理解を重視した教育によって福祉マインドを醸成し、社会福祉の現場のみならず、企業、行政機関、地域社会に貢献できる実践力を身につけた人材を養成します。

≪育成すべき学生像≫

①企業、行政機関、地域社会等、幅広い分野で、「人」を大切にするという社会福祉の考え方を発信できる人を育成します。

②SDGs、多様性を理解し、幅広い視野、豊かな感性、柔軟な思考で社会課題に応えることのできる人を育成します。

心理科学部

臨床福祉の精神の下、心のはたらきについての科学的知識と、心の健康を実現するための効果的な援助技法を教授し、人々が幸せを感じて生きていける社会づくりに貢献できる実践的人材を育成します。

■心理科学部　心理科学科

※心理科学科は、2023（R5）年度より 2 コースから 3 コースに変更

≪教育目的≫

医療・福祉・教育・産業・司法等の領域で、心身の健康問題を心理科学によって分析・解決できる柔軟な能力を有する、公認心理師等の専門的職業人の育成を目的としています。

≪教育目標≫

こころの問題について科学的に分析・解決する知識と技能、それらの問題を抱える様々な立場の人々によりそうカウンセリング・マインドとコミュニケーション能力を修得することが教育目標です。

(1)教育・発達コース

≪教育目標≫

こころの働きや発達について、心理科学的見地から関心と知見を身につけ、一人ひとりの多様性を尊重し包括的な支援や援助ができる共生社会の一翼を担う人材を育成します。

≪育成すべき学生像≫

①こころの発達や障害について、心理科学の知見から正確に理解する視点と生きやすさを考える力を備えた社会人を育成します。

②人と社会の多様性を理解し、心理科学に基づく確かな専門的知識と技術を背景とした包括的な関わりや援助、支援ができる専門的職業人を育成します。

(2)社会・生活コース

≪教育目標≫

複雑な社会の中で、人々の健康や幸福感を高めることを使命と感じ、心理科学の知見と技法を駆使して果敢に挑戦し問題解決ができる人材を育成します。

≪育成すべき学生像≫

①健康で幸福感に満たされた日々が過ごせるよう、人々の暮らす環境に働きかけ、制度の見直しや運用上の改善点に気づき、的確機敏に対応できる産業人を育成します。

②活気ある地域創生、健全で生産性の高い組織づくり、人に優しい環境設計、平和で豊かな社会構築をめざし、周りの人々と協力して実行できる社会人を育成します。

(3)医療・健康コース

≪教育目標≫

個人の心身の健康について、科学的心理学に基づく心理査定と心理介入の知識とスキルを駆使して問題解決はもとより健康の維持・増進を図ることができる専門的職業人を育成します。

≪育成すべき学生像≫

①うつ病等のこころの疾病、職場や地域でのこころの問題を理解し、心理査定と心理療法を活用して問題解決や支援ができる人を

育成します。

②家庭や職場、地域等で生じるあらゆるこころの問題の予防と健康の維持・増進について、心理科学の知見や技法を用いて寄与できる人材を育成します。

健康福祉学部

健康に関する知識と技能を駆使し、身体もこころも健康となる幸せな人間生活を実現させる福祉のこころを有した専門的職業人を育成します。

■健康福祉学部　健康科学科

≪教育目的≫

専門的知識を身につけ、児童生徒等・教職員の健康と安全を守る教育者（養護教諭）や働く人々の健康と環境をマネジメントできる専門家（第一種衛生管理者等）の育成を目的としています。

≪教育目標≫

健康・安全・環境に関する知識と専門的技能を修得し、子どもに対しては一人ひとりへの愛情と慈しみを大切にしながら成長・発達を促すことができ、働く人々に対しては健康と環境をマネジメントできる、トータルヘルスのリーダーとして活躍できる人材を育成します。

≪育成すべき学生像≫

①こころの健康や身体症状に関する知識、カウンセリング能力、健康問題をとらえる力量や解決のための指導力、企画力、調整力を身につけた専門家を養成します。

②生涯にわたって健康・安全に生活するための健康教育ができる専門家を養成します。

③労働社会における問題点を的確に見通し、就労者の健康と環境のマネジメントができる専門家を養成します。

④ストレス・メンタルヘルス対策ができる専門家を養成します。

■健康福祉学部　福祉栄養学科

≪教育目的≫

人が豊かに生きるための「栄養と食」について学び、ライフステージ（生涯）を通しての栄養管理・栄養指導を行える管理栄養士等の育成を目的としています。

≪教育目標≫

栄養や食品に関する基礎知識、栄養指導の実践技術力を修得することが教育目標です。

(1)臨床栄養コース

≪教育目標≫

人が生きていくために不可欠な「栄養と食」について学び、臨床栄養管理・栄養指導を行える専門的能力を身につけた上、病院・高齢者施設等、「臨床の場」でリーダーシップを発揮できる管理栄養士を養成します。

≪育成すべき学生像≫

乳幼児から高齢者に至るすべてのライフステージ（生涯）において食生活に起因する生活習慣病の予防や栄養指導を行う、医療・高齢者・福祉のスペシャリストとして活躍する人を養成します。

(2)食品開発コース

≪教育目標≫

人が生きていくために不可欠な「栄養と食」について学び、食品開発を行える専門的能力を身につけた上、食品企業・食品研究所等「産業の場」でリーダーシップを発揮できる管理栄養士を養成します。

≪育成すべき学生像≫

食べ物と人の健康の維持・増進にかかわる教育を通して修得した知識や技能を活かし、食品開発を行うプロフェッショナルとして活躍する人を養成します。

(3)栄養教諭食育コース

≪教育目標≫

人が生きていくために不可欠な「栄養と食」について学び、食育指導を行える専門的能力を身につけた上、学校・保育園・保健所等「福祉の場」でリーダーシップを発揮できる管理栄養士を養成します。

≪育成すべき学生像≫

食べ物と人の健康の維持・増進にかかわる教育を通して修得した知識や技能を活かし、食育を行うプロフェッショナルとして活躍する人を養成します。

保健医療学部

医療人としての人の幸せを願う豊かなこころと教養および基礎知識を身につけるとともに、リハビリテーション科学の発展と専門分化に追随し、応用できる知識と技能、および福祉科学を理解した、指導力と協調性を有する理学療法士・作業療法士・言語聴覚士を育成します。

■保健医療学部　リハビリテーション学科

≪教育目的≫

障害を有する人の治療や、日常生活・社会生活に困難がある人の支援を行う医療専門職に必要な人格・知識・技能を備えた理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の養成を目的としています。

≪教育目標≫

医療専門職に求められる次のような人格・知識・技能を修得することが教育目標です。

①医療人としての豊かな教養と人に愛される人間性

②リハビリテーション科学の発展と専門分化に追随し、応用できる知識と技能

③「超高齢社会」・「障害児・者の支援」に対応する福祉科学の知識

④指導力と他の医療従事者との協調性

≪育成すべき学生像≫

人の幸せと科学について深い関心を持ち、主体的に学習を続け、知識と技能を身につけ、障害を有する人々の支援に携わることのできる人を育成します。

各専攻では、以下のような人の育成を目指しています。

(1)理学療法学専攻

リハビリテーション科学の発展と次の領域による専門分化に対応できる理学療法士

- 基礎理学療法
- 運動器障害理学療法
- 神経・発達障害理学療法
- 内部障害理学療法
- 地域理学療法

(2)作業療法学専攻

リハビリテーション科学の発展と次の領域による専門分化に対応できる作業療法士

- 基礎作業療法
- 身体機能作業療法
- 精神機能作業療法
- 発達過程作業療法
- 地域・高齢者作業療法

(3)言語聴覚学専攻

リハビリテーション科学の発展と次の領域による専門分化に対応できる言語聴覚士

- 失語・高次脳機能障害学
- 発声発語・嚥下障害学
- 言語発達障害学
- 聴覚障害学

教育学部

教育および保育に関する知識と技能を教授するとともに、幅広い教養と豊かな人間性を培うことによって、幸せな未来社会の構築に貢献しうる、高い資質能力を有した実践的指導力のある専門的職業人を育成します。

■教育学部　教育学科

≪教育目的≫

幅広い教養と、教育や保育に関する知識と技能に基づいて、教育や保育の実践の場で専門性を発揮できる高い資質能力を有する教員や保育者、および多角的な視点から現代社会の教育課題に応じうる教育人の育成を目的としています。

≪教育目標≫

教育や保育の実践の場で専門性を発揮できる教員や保育者、および現代的な種々の教育課題に応じうる教育人となるために必要な高い資質能力を身につけることが教育目標です。

子ども発達教育専攻

≪教育目標≫

幅広い教養に根ざした、乳幼児期・児童期の理解と、幼児教育・小学校教育・特別支援教育に関する基礎的および専門的な知識と技能の修得によって、学校教育や保育の場でその専門性を発揮できる人を育成します。

≪育成すべき学生像≫

①学校教育や保育に関する専門的知識と技能を修得し、それを現場で柔軟に活用することができる実践的指導力を有した人を育成します。

②発達障害や特別支援教育に関する専門的な知識を身につけ、学校教育や保育の場で、乳幼児および児童の成長・発達を適切に支援することができる人を育成します。

③福祉科学の視点を有した知識を修得し、多角的な視点から現代社会の教育課題に対応できる豊かな感性を持つことで、教育産業等で活躍ができる人を育成します